

第一生命リアルティアセットマネジメント株式会社



第一生命ホールディングス

SOHGO
HOUSING

相互住宅

2021年12月22日

第一生命リアルティアセットマネジメント株式会社

第一生命ホールディングス株式会社

相互住宅株式会社

私募リート「第一生命ライフパートナー投資法人」

「再エネ100宣言 RE Action」にリートとして初めて参加

2024年度始から使用電力を100%再エネ化方針

第一生命ホールディングス株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二)と相互住宅株式会社(代表取締役社長:永山 篤史)により設立された第一生命リアルティアセットマネジメント株式会社(代表取締役社長:牧内 克司、以下「第一生命リアルティ」)が運用する私募リート「第一生命ライフパートナー投資法人」(以下「本投資法人」)が使用電力の100%再生可能エネルギー化を目指す「再エネ100宣言 RE Action」に参加したことをお知らせします。同宣言への参加は、上場リートを含めリートとして初めての事例となります。

再エネ100宣言 RE Action

■TCG(The Climate Group)が運営するRE100の対象とならない企業等(年間消費電力量が50GWh未満等)を対象に、使用電力を100%再生可能エネルギーに転換する意思と行動を示し、再エネ100%利用を促進する枠組み

■RE100の日本国内の支援窓口である日本気候リーダーズ・パートナーシップ(JCLP)をはじめとする4団体により運営、現在216の団体が参加(2021年12月19日現在)

第一生命グループでは、第一生命保険株式会社(以下、「第一生命」)がRE100への加盟等を通じて2023年度までに事業活動で使用する電力の100%再生可能エネルギー化を推進(特に第一生命が外部賃貸する物件(投資用不動産)は2021年度中に100%再生可能エネルギー化を完了予定)するなど、温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラルの実現に向けた取組を進めています。

第一生命リアルティが運用する本投資法人においても、2021年8月から一部保有物件での使用電力について、「カーボンクレジット」として国が認証するJ-クレジットの購入による再生可能エネルギー化を図り、本投資法人の投資家と気候変動問題解決に向けた対話を重ねて参りましたが、投資家のカーボンニュートラルに向けた取組に対する関心の高まりとポジティブな反応を踏まえ、本投資法人が保有する不動産での使用電力を2024年度始から

100%再生可能エネルギー化する方針を決定し、「再エネ 100 宣言 RE Action」に参加いたしました。

また、運用会社である第一生命リアルティにおいても、2022 年度より事業活動で使用する電力の再生可能エネルギー化を行う予定であり、今般の取組を通じて、地球環境保護・環境負荷低減の取組を強化するとともに、気候変動問題解決に向けた投資家との建設的な対話を推進するなど、脱炭素社会ひいては、持続的社会的実現に貢献していきます。

以上

<本投資法人の概要>

名称	第一生命ライフパートナー投資法人
所在地	東京都千代田区霞が関三丁目8番1号
代表者	牧内 克司
設立日	2020年1月17日
運用開始日	2020年3月2日
資産規模	約550億円(2021年12月時点)
投資対象	住宅および人々が日常生活で利用しQOL向上に資する不動産
投資地域	東京23区内を中心とした三大都市圏(東京圏・大阪圏・名古屋圏)、 その他地方主要都市

<第一生命リアルティの概要>

名称	第一生命リアルティアセットマネジメント株式会社
本社所在地	東京都千代田区霞が関三丁目8番1号
代表取締役社長	牧内 克司
設立日	2019年7月1日
資本金	2億円
株主構成	第一生命ホールディングス株式会社 70% 相互住宅株式会社 30%
登録・認可等	宅地建物取引業 東京都知事(1)第103977号 取引一任代理等の認可 国土交通省大臣認可第132号 金融商品取引業 関東財務局長(金商)第3168号
ホームページ	https://www.dai-ichi-life-realty.co.jp/